

---

NATIONAL  
D I E T  
LIBRARY  
MONTHLY  
BULLETIN  
2020.7/8

国立国会図書館  
月報

---



ジャパンサーチついに正式版公開へ！

座談会 ジャパンサーチの未来の話をしよう

本の森を歩く 記述の形式について

国立国会図書館で働いています

# 国立国会図書館 月報

NO. 711/712  
JULY/AUGUST 2020

CONTENTS

- 1 東豎子  
— 描かれた男装の女官  
今月の一冊 国立国会図書館の蔵書から
- 7 ジャパンサーチついに正式版公開へ！
- 10 座談会 ジャパンサーチの未来の話をしよう  
ある人がジャパンサーチで調べてみた
- 20 本の森を歩く 第23回  
記述の形式について
- 22 国立国会図書館で働いています no. 7
- 32 本屋にない本  
『新江戸東京たてももの園物語』
- 33 NDL TOPICS



表紙：  
橋本邦助 著『巴里絵日記』  
博文館 明 45.7 22cm  
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/903655/22> (モノクロ画像)

あずまわらわ  
東豎子

一描かれた男装の女官

武田和也



第1軸冒頭

大工頭・中井正紀

禁裏遷幸御行列

[江戸後期] 写 3軸; 36.6cm  
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1287045>

海山を超て洛に来るもの幾千万そや

京都市中を焼き尽くした天明の大火（天明8（1788）年）で御所を失い、洛東・聖護院を仮の御所とした光格天皇は、寛政2（1790）年11月22日、平安時代の様式に則つて再建された御所（寛政内裏）に向かい行列を進めました（寛政遷幸）。

元京都町奉行所与力・神沢杜口は、当日の様子を、天皇の行列を見ようと多くの人が海山を越えて押寄せ立錐の余地がなかったと書き残しており<sup>①</sup>、その中には伊勢国松坂の国学者・本居宣長もいました<sup>②</sup>。今回紹介する「禁裏遷幸御行列」は、当時、多くの人が見学を望んだこの行列の様子を描いた三巻からなる絵巻です。



第2軸に描かれた東豎子

絵巻の先頭は、御所の造営を担当した江戸幕府の大工頭・中井正紀<sup>③</sup>。最後尾の掛川藩主

で京都所司代の太田資愛との間には、光格天皇の鳳輦や閼白・鷹司輔平が乗る牛車を初め、赤・青・黄・緑といった色鮮やかで様々な形の装束を身に着けた老・壮・青・幼の男性が、徒歩や騎馬で行列に供奉する姿が描かれています。なかには、頭上の冠の位置を直す人、座り込んで衣装の紐を結び直す人、前の人の肩を叩く人等も描かれ、厳かさだけではない当日の喧騒ぶりを窺わせますが（次頁）、第二軸の後半に、扇で顔を隠した馬上の人物がいることに気がきます（左上）。「東豎子<sup>④</sup> 虫鹿左少史小槻為秀女」との付箋があるこの人物、一体何者なのでしょうか。

とりかへばやの大将出来か

付箋に書かれた「東豎子」ですが、平安時代から鎌倉時代にかけて、天皇が行幸するにあたって天皇の靴を持参するために騎馬で供奉した男装の女官の役職として知られています<sup>⑤</sup>。その後廃絶したと言われていますが、近年、江戸時代の絵画資料に東豎子を描いたものが発見されており<sup>⑥</sup>、本絵巻もそのような資料の一つといえるでしょう。



頭上の冠の位置を直す(?)人

第2軸より



東豎子は鳳輦から少し離れた場所に供奉(くぶ)している

光格天皇の鳳輦



後ろの人と談笑中の人



見学者に手を振っている(?)人

ところで、本格的な天皇の行幸は、室町時代の文正元(1466)年以降中断したとされます<sup>(5)</sup>。戦国時代が終わり、聚楽第行幸(天正16(1588)年・天正20(1592)年)・寛永行幸(寛永3(1626)年)と大規模に復活しますが、これら行幸関係の資料に東豎子の名前は見え、例えば、寛永行幸において靴を管理していたのは下級官人である内豎<sup>(6)</sup>の高屋右康でした。江戸時代の天皇は幕府から行動を制限されており、寛永行幸から寛政遷幸までの数少ない行幸の事例では、役職としての東豎子の名は確認できるようになるものの、慶安4(1651)年の後光明天皇の後水尾上皇への年頭の拝礼(朝覲行幸)、宝永6(1709)年の中御門天皇による宝永度内裏への遷幸(宝永遷幸)では男性が東豎子を務めています。

寛政遷幸は、宝永遷幸の次に行われた行幸ですが、この時、中世に廃絶した、三種の神器に次ぐ天皇家の象徴である大刀契<sup>(7)</sup>の櫃が再興されたことがわかっています。とすると、宝永遷幸段階で男性が務めていた東豎子もこの時から女性が務めるようになったのかもしれない。

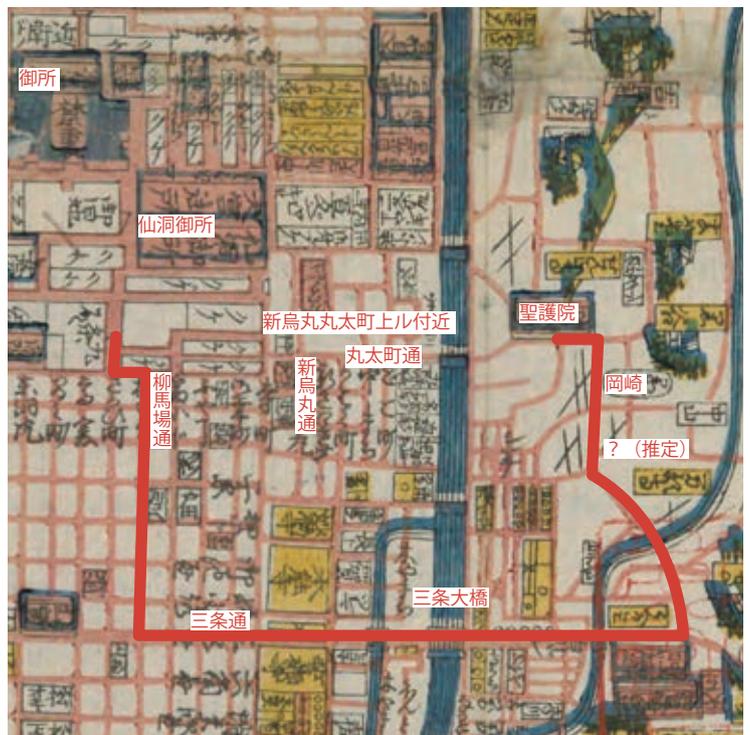
次に、同じく付箋から、「彼女」の父とされる「虫鹿左少史小槻為秀」は、当時の記録等によると、当時41歳、三河守や、後桜町上



前の人の肩を叩く人



座り込んで衣装の紐を結び直す人



『天保改正袖中京絵図』池田東籬 考正 竹原好兵衛 天保12 [1841] 1舗 <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9367511>  
 「柳原均光日記」寛政2年11月22日条(藤井讓治・吉岡眞之 監修・解説『天皇皇族実録(127光格天皇実録 第2巻)』、ゆまに書房、2006年<請求記号 GB77-H237>)及び「255 禁裏遷幸笠駕籠道絵図」(『大工頭中井家建築指図集 中井家所蔵本』思文閣出版、2003年<請求記号 YP12-H3>)掲載の道順をもとに赤字で追記。

皇の仙洞御所の取次衆も兼ね、仙洞御所の近隣・新鳥丸丸太町上ル(上図)に住んでいた人物であることがわかりました。<sup>(9)</sup> 紆余曲折の末、複数の候補者から11歳の虫鹿左少史小槻為秀の娘が東豎子に選ばれる過程は、行列を差配する新内裏遷幸傳奏を務めた公家・勸修寺経逸の職務日記から確認することができます。<sup>(10)</sup>

もう少し調べてみると、兄は虫鹿秀芳とい、当時20歳で官職は右少史、後には、人名録「平安人物志」において装束の専門家と紹介される程の人物でした。<sup>(11)</sup> また、文政2(1819)年の記録には、光格天皇の子である仁孝天皇の妻(女御)・鷹司繫子に仕える女房として「史 虫鹿故為秀女 三十五 御年寄藤瀬」という35歳の人物を確認できます<sup>(12)</sup>が、寛政遷幸時には6歳なので、東豎子の妹ではないかと思われます。絵巻に描かれた東豎子は、御所周辺に居住し、男女問わず家族総出で天皇家に仕えた家の一員である実在の女性なのでした。延暦寺の僧で、当時、京の和歌四天王と呼ばれた慈延は、行列に供奉した彼女のことを、少女が男性の装束である衣冠を身に着けて馬に乗っている姿の趣は、あの「とりかへばや物語」<sup>(13)</sup>の大将が現れたかのよう<sup>(14)</sup>で非常に素晴らしいと書き残しています。



- ①垂纓冠
- ②飾り紐
- ③袍
- ④裳
- ⑤横目扇
- ⑥唐衣
- ⑦指貫

### 男と同じ様に馬に打ち乗り

当時の人を魅了した男装の女官・東豎子。実際の所、彼女はどの様な装束を身に付けていたのでしょうか。当時の記録「寛政遷幸記」には、女性の正装である唐衣・裳を身に付けてつつ、男性の衣装である垂纓冠（後方に纓を垂らした冠）・五位の官人が着る朱紱（オレンジ色）の袍（上着）・紫色の指貫（袴）を着用しているとあります。同じく「京都御遷幸之記」には、唐衣は紋のある生地に上から紋を施した二階織物で、中着である単は青の辛菱の紋、腰から下に後方にまとう裳は米粒を並べたように見える穀織の白色の生地に花鳥画が描かれているとあり、冠は十代の若者が用いる透額。指貫は紫色の二階織物、扇は横目扇を持つっていると記録されていました。

改めて確認すると、纓が垂れた冠、オレンジ色の袍、袍の袖から見える唐衣及び指貫は亀甲紋の上に白色の紋が施されており、白色の裳には花や鳥が描かれているのがわかります。扇には、扇面画や飾りを確認することができました。当日の装束が丁寧に描かれていることがわかります（上図参照）。

ところで、寛政遷幸を描いた絵画資料には他にも（表1）のようなものを見つけることができます。

## 描かれた東豎子たち



表1 寛政遷幸を描いた資料

資料名	所蔵機関
寛政二年新造内裏遷幸御行列図并行列書	国立国会図書館 A
寛政御遷幸図巻	斎宮歴史博物館
光格天皇御遷幸行列絵巻	宮内庁書陵部図書寮文庫 B
寛政遷幸之巻図	京都大学附属図書館 C
天皇御遷幸御行列之図	早稲田大学図書館
寛政造内裏遷幸之次第	京都府立京都学・歴史館
寛政内裏遷幸図屏風	ポストン美術館

表2 東豎子が見られる、幕末にかけての行幸等を描いた資料

資料名	所蔵機関
桜町殿行幸図	国立公文書館 D
新嘗祭図	京都府立京都学・歴史館
加茂両社行幸図巻	京都産業大学図書館

\*一部の資料を除き各館のウェブサイトやデジタルアーカイブで閲覧可能。

### 東豎子のその後

その他、中世に中断し、元文5(1740)年に復興した宮中祭祀・新嘗祭では、寛政3(1791)年に神嘉殿が再建された後の、寛政5(1793)年以降の記録に下級官人の娘が東豎子として供奉した記録が残っています<sup>(17)</sup>。また、幕末にかけて東豎子が描かれた資料には(表2)のようなものがあり、男装していることが確認できます。

すっかり復活・定着したように見える男装の女官・東豎子ですが、江戸幕府が倒れ、明治2(1869)年3月7日に江戸に向かった明治天皇の行列の記録にはその姿を確認できません<sup>(18)</sup>。

まだまだ謎の多い東豎子、今後の研究が待たれます。



関白・鷹司輔平の牛車



- 1 筑波大学附属図書館蔵「塵泥」巻1「寛政御遷幸記」。https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/opac/volume/998420; 米・ボストン美術館蔵「寛政内裏遷幸図屏風」には、市内に押寄せた見学者の様子も詳しく描かれている。https://collections.mfa.org/objects/24991/; https://collections.mfa.org/objects/24992/
- 2 伊藤純「隠岐国駅弁と光格天皇 歴史の転換をもたらしたモノ」『大阪歴史博物館研究紀要』15号(2017年) <請求記号 Z71-J145>
- 3 服藤早苗「男装の女官東賢子」(吉村武彦 編『日本古代の国家と王権・社会』塙書房、2014年) <請求記号 GB161-L102>  
服藤早苗「平安朝の異性装 東賢子を中心に」(『アジア遊学』210号、2017年) <請求記号 Z71-D332>
- 4 斎宮歴史博物館 特集展示「馬に乗った男装の女官を描いた絵巻」を開催します! (2019年7月3日) https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11339934/www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0014100132.htm (国立国会図書館内限定公開)
- 5 岡本和真「寛政御所遷幸の研究」(『神道史研究』62巻2号、2014年) <請求記号 Z9-173>
- 6 「寛永行幸記」寛永3年9月6日条(藤井譲治・吉岡眞之 監修・解説『天皇皇族実録103(後水尾天皇実録 第1巻)』、ゆまに書房、2005年<請求記号 GB77-H165>)。宮内庁所蔵の御物「寛永三年丙寅東福門院入内に付後水尾天皇二条へ行幸御簿及徳川二代將軍秀忠上洛絵巻物」には靴を捧げて徒歩姿で供奉する男性の姿が描かれている(山本博文『徳川秀忠(人物叢書新装版)』吉川弘文館、2020年<請求記号 GK199-M941>掲載図版(p. 207)で確認)。また、聚楽第行幸を描いた、堺市博物館蔵「聚楽第行幸図屏風」・上越市立総合博物館蔵「御所参内・聚楽第行幸図屏風」でも靴を捧げて徒歩姿で供奉する男性の姿を確認できる(狩野博幸『秀吉の御所参内・聚楽第行幸図屏風』、青幻舎、2010年<請求記号 KC117-J8>掲載の図版で確認)。
- 7 「忠宿禰記」慶安4年2月25日条(藤井譲治・吉岡眞之 監修・解説『天皇皇族実録107(後光明天皇実録)』、ゆまに書房、2005年<請求記号 GB77-H169>)、神沢杜口「翁草巻171 中御門帝遷幸御行列記」(『日本随筆大成』第3期第24巻新装版、吉川弘文館、2007年<請求記号 KG294-J95>)
- 8 野村玄「近世における天皇の地位と正統性 大刀契・剣璽・通過儀礼及び皇統の扱いに注目して」(『大阪大学大学院文学研究科紀要』57号、2017年) <請求記号 Z22-276>
- 9 「虫鹿」(〔三上景文〕著・正宗敦夫校 編『地下家伝』5、日本古典全集刊行会、1937年) https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1207798/108

- 「寛政2年刊出雲寺和泉掾版 万世雲上明鑑」(深井雅海・藤實久美子 編『近世公家名鑑編年集成』第9巻(天明6年-寛政4年)、柗風舎、2010年) <請求記号 GB13-J97>
- 10 国立公文書館内閣文庫蔵「新造内裡遷幸伝奏事」。嘉永7(1854)年11月、公家・坊城俊克が公家・勤修寺顕彰(経逸の3代後の勤修寺家当主)から借り受けて書写した旨の奥書がある。https://www.digital.archives.go.jp/das/meta/M2017051217193934069
- 11 国際日本文化研究センター蔵「文政壬午(5年)再版 平安人物志」。http://db.nichibun.ac.jp/sp1/ja/category/heian\_jinbutsu.html
- 12 宮内庁書陵部蔵「禁中門跡女房補略」。https://doi.org/10.20730/100250763/viewer/14
- 13 平安時代末期の物語。貴族の兄妹が、兄が女装・妹が男装のまま成人し、妹は男性として右大将まで昇進する。最終的に元の性別に戻り、兄は関白、妹は天皇の妻(中宮)となる。
- 14 京都大学附属図書館平松文庫蔵「遷幸をおがみたる記」。https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00005916 4コマ目
- 15 高知県立高知城歴史博物館山内文庫蔵「寛政遷幸記」。国栖景雷(聖護院門跡家臣・漢学者)撰・山田以文(公家の吉田家家臣・国学者)校。https://doi.org/10.20730/100103621/viewer/10
- 16 国立公文書館内閣文庫蔵「京都御遷幸之記」。天保13(1842)年、北川政武(伊勢国・山田の国学者)が大中臣氏養(内宮・禰宜)から借り受けて書写した旨の奥書がある。https://www.digital.archives.go.jp/das/image/F1000000000000007681 17コマ目
- 17 下級官人・山名亮壽の娘(「柳原均光日記」寛政5年11月14日条・寛政8年11月14日条(藤井譲治・吉岡眞之 監修・解説『天皇皇族実録127(光格天皇実録 第2巻)』、ゆまに書房、2006年<請求記号 GB77-H237>)や山口庸昌の娘(「日記案」寛政10年11月20日条(藤井譲治・吉岡眞之 監修・解説『天皇皇族実録127(光格天皇実録 第2巻)』、ゆまに書房、2006年<請求記号 GB77-H237>)が供奉した記録がある。
- 18 国立公文書館蔵「東幸発輦御簿ヲ定ム」『太政類典』第1編(慶応3年~明治4年)第51巻(宮内・行幸行啓3) https://www.digital.archives.go.jp/das/meta/M00000000000000829980  
\*小見出しの出典  
①海山を超えて洛に来るもの幾千万そや:「塵泥」(1)、②とりかへばやの大將出来か:「遷幸をおがみたる記」(14)、③男と同じ様に馬に打ち乗り:「寛政遷幸記」(15)

# ジャパンサーチについて正式公開へ！



※正式版のイメージ画面

<https://jpsearch.go.jp/>

## ジャパンサーチって何？

さまざまな分野のデジタルアーカイブと連携して、我が国が保有する多様なコンテンツのメタデータ<sup>※</sup>を検索できる「国の分野横断型統合ポータル」です。2019年2月に試験版が公開され、試験版へのフィードバックを受けて機能が改善され、今年2020年8月中に正式版が公開される予定です。

## 誰が運営しているの？

運営主体は、内閣府知的財産戦略推進事務局が庶務を務める「デジタルアーカイブジャパン推進委員会及び実務者検討委員会」です。関係府省をはじめ、国の主要なアーカイブ機関及び有識者から構成されており、国立国会図書館も委員として参加しています。この委員会で決定される方針のもと、さまざまな分野のアーカイブ機関の連携・協力により、国立国会図書館がシステムの構築・運用を担当しています。

## どんなデジタルアーカイブと連携しているの？

同じ分野や地域のコミュニティに

においてメタデータの集約・標準化を行っている「つなぎ役」を介してさまざまなデジタルアーカイブとの連携を進めています。2020年6月末現在、18連携機関、71データベース、メタデータ約2,000万件と連携しています。

主な連携機関には国立文化財機構のCoBase（文化財）、国立公文書館デジタルアーカイブ（公文書）、人間文化研究機構のninJINT（人文学）などがあります。国立国会図書館の国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）は、書籍等分野のつなぎ役として、9機関、11データベースをジャパンサーチにつないでいます。

## どんな機能があるの？

統合ポータルとしての横断検索の仕組みのほかに、デジタルアーカイブの魅力を活かせるよう、さまざまな機能を有しています。次のページで紹介します。

※コンテンツの内容や所在等について記述したデータ。図書館の書誌データ、博物館・美術館の収蔵の目録データなど。

早速見てみよう！



# HOW TO USE JAPAN SEARCH

編基本

検索窓から、「製鉄」という  
キーワードで横断検索して  
みよう



詳細ページから連携機関の  
データベースにリンク！  
動画が見られた！

検索結果を、資料の利用条件や  
デジタルコンテンツの有無、  
データベース名で絞り込めるんだね

ハートをクリックして...



NHK「みちしる」より「たたら製鉄」  
[https://jpsearch.go.jp/item/michi-D0004990163\\_00000](https://jpsearch.go.jp/item/michi-D0004990163_00000)

画像は  
IIF 対応



日本刀に関する本、  
浮世絵、写真、動画、過去の展覧  
会情報などがぎっしり！

👁️ **ギャラリー**

クリックするだけでジャパンサーチと連携しているデジタルアーカイブの魅力や広がりを実感できるよう、特定のテーマについて画像と解説文でコンテンツを紹介したページです。ギャラリーの点数は現在約 120 点。

「日本刀」のギャラリー  
<https://jpsearch.go.jp/curation/ndl-YwWd7Gdk33D>

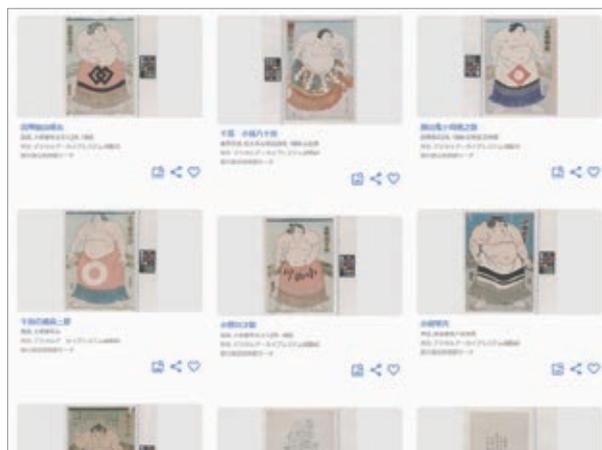
詳細ページでは、利活用データを利用して、同じ作者の資料、同年代の資料、同じ場所の情報を持つ資料など、関連する資料を自動的に表示します。

- (1) International Image Interoperability Framework 国際的な画像の相互運用のための規格
- (2) RDF(3)の言語のひとつである SPARQL を用いてデータを提供する API (Application Programming Interface 外部提供インターフェース)
- (3) Resource Description Framework メタデータの表現方法の規格

## 画像検索



サムネイル画像（縮小画像）やアップロードした画像と似た特徴をもつサムネイル画像を検索することができます。



バンド  
アド



## マイノート

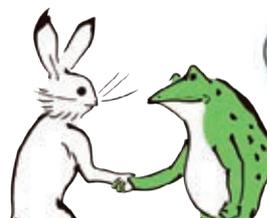


お気に入りの資料やギャラリーの♥マークをクリックすることで自分だけの資料リストを作成できます。登録した資料にメモを付けたり、excel や html 形式での出力もできます。閲覧・編集は画面右上のノートアイコンから。



マイノートに登録！

## 共同編集機能（ワークスペース）



グループワークや  
共同研究がスムーズに

特定のグループやコミュニティだけがアクセスできるワークスペースを立ち上げ、マイノートやギャラリーを共同編集することができます。

注) 現在、共同編集機能のご利用は申請制です。

学校での調べ学習にも  
使えそう！



## ウェブパーツ

ジャパンサーチで作成したマイノートやギャラリーは、html形式で出力でき、ウェブサイトのパーツとしてご自身のウェブサイトやブログに貼り付けて公開できます。



## 利活用データ

ジャパンサーチが集約したメタデータを SPARQL エンドポイント<sup>(2)</sup>で提供。データを正規化（例：和暦を西暦に、歴史的な地名を現在の地名にする等）し、利活用しやすい形式に変換した「利活用データ」を取得できます。利活用データを使うことで、Europeana などの海外のポータルとの横断検索をすることもできます。



# ジャパンサーチの未来の話をしよう

データ提供者、人文情報学の研究者、ユーザーと、異なる立場のお三方にお集まりいただき、ジャパンサーチ試験版の評価や今後の期待について伺いました。(2020年3月4日実施)

## デジタルアーカイブとの関わり

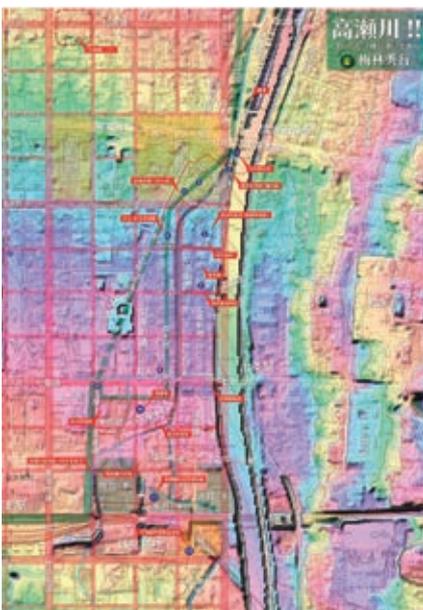
— まずは、ご自分の研究や専門の領域についてお話しいただきながら、デジタルアーカイブとの関わりや最近の関心事項についてお聞かせください。

在野に近い立場ですので、資料に対するアクセシビリティがかなりネットワークです。ジャパンサーチはそこをずいぶん標準化してくれそうな気がしてありがたいです。国立国会図書館デジタルコ



出席者 (右から)  
 梅林 秀行 氏 (京都高低差産会産長)  
 田良島 哲 氏 (東京国立博物館特任研究員)  
 大向 一輝 氏 (東京大学大学院人文社会系研究科准教授)  
 (聞き手 徳原 直子 (国立国会図書館電子情報部電子情報企画課課長補佐 (当時)))

梅林 一番肩書がない人間です(笑)。主な分野としては歴史学、都市史になるんでしょうか。都市の外形的要素からその風景や生活史を復元していく際にデジタルアーカイブを頻繁に使います。一般市民の方向けの講座も多いです。これ(下図) はつい先日、京都市主催の催し物で使った地図ですが、全てオープンデータとデジタルアーカイブの近世の町絵図を使いました。



たらしま さとし  
田良島 哲  
東京国立博物館特任研究員



レクシオン<sup>①</sup>や国立公文書館デジタルアーカイブ<sup>②</sup>はダウンロードできる形になっていてありがたいですが、ほとんどの所蔵機関のデジタルアーカイブって閲覧のみなんですよね。それじゃ使物にならないんですよ。僕にとっての活用は、ユーザーがローカルな環境の中でデータを二次的・三次的に加工している状態だと思うので、その部分についても今日はみなさんとお話できればと思います。よろしくお願ひします。

田良島 今は東京国立博物館の特任研究員をしております。学生の時は実は梅林さんがおっしゃられた都市史をやっていました(笑)。京都府庁に入

りまして、その後文化庁、トーハク(東京国立博物館)という職歴を経ています。文化財行政についていろいろ調査をして報告書を出すんですが、300部刷ると、ネットの普及しない当時、まづ知事、教育長で減っていく。本来必要なところに回らないなと感じたのが、データの公開について考え始めたそもそのきっかけです。1995年に『古文書研究』に「これからは資料情報をオンラインで提供すべきだ」という趣旨の短い文章<sup>③</sup>を書きまして、それが最初のマニフェスト<sup>④</sup>です。たまたま2003年にトーハクに異動になり、情報公開を担当するようになりました。16、17年いしましたが、半分はデジタル情報の公開、残り半分

は所蔵品そのものの情報の管理に関する業務をやってきました。国のデジタルアーカイブに関しては2015年から2019年まで4年間、内閣府のアーカイブ関係の会議体のメンバーを務めました。今日は、博物館の立場を申し上げるとともに、よりよいオープンデータの作り方ができるようにみなさんと一緒に考えていければと思います。

大向 今は東大にありますが、昨年までは国立情報学研究所で、CZIN<sup>⑤</sup>をはじめとする、大学図書館や研究施設で主に使われる情報システムを開発していました。僕はお二人とはバックグラウンドが全然違って、コンピューターサイエンスから入ってきた人間です。2000年代の初頭に、ブログとかSNSとか、個人がネットの世界に情報を出していったコミュニケーションするというのが非常に大きな流れとして出てきたので、それに興味を持つ

てずっと研究していたということ、勤め先がたまたま学術情報を扱っていたので、それをどうくつつけたらいいのかを考えているうちに、CZINなどのシステムに関わるようになりました。現代の情報システムの役割はすごく大きくて、その作りの良しあしによって資料の持つ力を引き出せたり、逆に蛇口をひねるように流れを止めることもできたりする、ある種の恐ろしさを痛感してきました。情報のありかについても、昔はネットにはネットの情報があり、昔はネットにはリアルな情報が、と別々に考えることもできたけど、今はネットとリアルとの融合が進んできて情報流通のあり方を考え直すべき状況だと思います。

現在は人文情報学という、人文学と情報学が重なった領域に対して研究教育活動をするという立場に変わったので、情報と人間の関わりそのものをテーマにして研究していこうと思っています。

つなぎ役が出していく情報を

どれだけ豊かにできるかが鍵だと思うんです

# 試験版は100点!?

——率直なところ、試験版の評価は仮に100点満点とすると、何点でしょうか。

さん出ている。

もう一つ実務的な面では、メタデータの調整をNDL(国立国会図書館)さん

田良島 70点。プラスの要素は二つあります。一つは、異なる分野を横につ

なげることの威力、効果が目に見えた

ことです。これまで似たようなサービ

スはいろいろあったけど、なかなかこ

れは、という感じではなかった。今

回は、それほど数は多くないにして

も、博物館、図書館、その他研究機関

をとにかく横につなげることで、いろ

いろなものが見えてくるというのがわ

かっていただけの仕組みになったと思

います。私たちは専門家なので、見つ

からなければそれぞれの専門のところ

に探しに行く、だから横につながって

いることに対してあまり重きを置か

ない。でも、一般ユーザーの方にとって

は、その壁を取っ払うと、ずいぶん

資料探しのハードルが下がるようで、

Twitterでも「いろいろな資料がヒット

する」ことについて嬉しい反応がたく

側が比較的楽になったというのがあり

ます。今まで「文化遺産オンライン」

にしても、メタデータを揃えないとな

かなか出せなかった。人手とかリソー

スが少ないミュージアムにもおすすめ

できる仕組みになったのかなと思いま

す。

否定的な点としては、コンテンツの出

所がわかりづらいところですね。今は

特にデータ提供者とジャパンサーチと

の間の「つなぎ役」のイメージがなか

なが見えにくいので、もう少し関係が

きれいに見えるような作りにした方が

いいのかなと感じています。

大向 僕は100点なんですけれど

(笑)。システムを作ってきた側からの

視点で言うと、存在していること自体

が素晴らしい。というのは、ジャパン

サーチは多くの人々による議論を経て

作られてきたものなので。こうあつた

らいいよね、という絵はいくらでも描

けるわけですが、それをいざ本当に作

ろうとすると、とてつもない大変さが

ある。一つの組織の資料だけを公開す



おおむかい いっき  
大向 一輝  
東京大学大学院人文社会系研究科准教授

るシステムとは求められるレベルが違

う。そこをやりきられたこと自体がす

ごいな、ということで100点です。

ただ、今100点だからといって、

状況が変われば急に30点になったり

150点になったりします。すごく

大変だけれども、ネットサービスは絶

え間ないアップデートによって、その

時々の100点を目指していく必要が

あると思います。

梅林 空気を読んで50点(笑)。実はま

だほとんど使っていないですよ。なぜ

かというと、僕の使い方だと横断検索

以上の価値がない。横断検索して一覧

が出て、そこから先は個別個別のデジ

タルアーカイブにいくので手間なんで

す、かえって。この話をいただいてか

ら何となく触ってはいるんですけど、

リッチに映らないんですよ。見かけ

とかじゃなくて、活用の道が何となく

見えないというか。横断検索の意義は

あると思うんですけど。あと、報告書

が引っ掛からない。遺跡調査報告書と

かが入っている文献データベースが連

—まだですね、想定はしていますが。

梅林 分野によると思うんです。僕みたいな歴史畑で考古学寄りの人間からすると、使いたい情報があまりまだ入っていないというのがありますね。

—弁解だけさせていただと、つながっているだけではなくて、利用条件の統一化、クリエイティブライセンスをはじめ、Creative Commons<sup>7</sup>をはじめ、PLCopen<sup>8</sup>とかでも使われているライセンス表示で絞り込みができるようにしたのは新しいことです。

梅林 そこはすごくありがたいですね。

## つなぎ役と中間サービスならではのメリット

—今、梅林先生からどう使ってよいかわからないと言われてしまいました(笑)、活用のためのアイデアや改善点をいただけるありがたいです。

梅林 単純に数が増えてくれたらいいなと思います。まずカバーする範囲が広がるのが第一かなと。たとえば「洛中洛外図」というキーワードで検索かけたんですけど、文化財情報があまり

出てこない。ユーザーはサービス単位じゃなくて、「この資料が欲しい」から探すんですよ。

—いまは大きい機関とばかりつながっているからメリットが正直見えないうところもあるかなと思っています。つながるべきは、まだ見出されていない地方の小さな機関なのかなと。

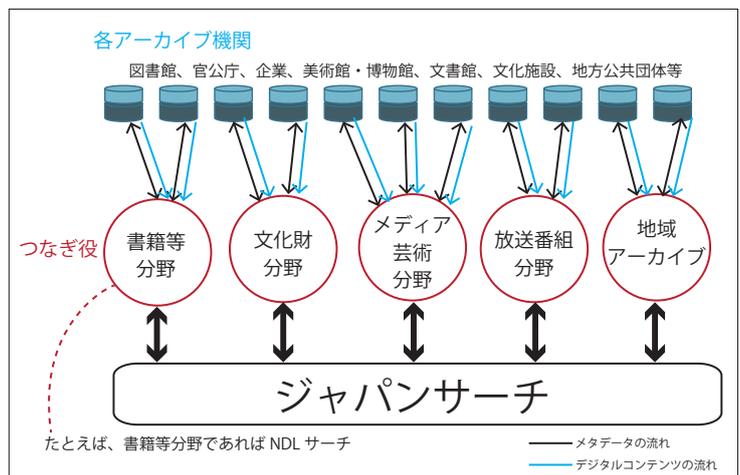
梅林 小さな機関の情報が入ると大変ありがたいですね。あと、個別個別のデジタルアーカイブとジャパンサーチの間でもう少し太い動線なりがあると変わってくるのかなと。

田良島 「つなぎ役」がジャパンサーチに出していく情報をどれだけ豊かにできるかというところが一つ鍵だろうと思うんです。個別のデータベースだけをずらーっと並べている状態だと非常に使いづらい。そこをある程度中間的に取りまとめる役というのが必要になってくるのだらうというのがこころ

ユーザーの求める次元が高くないで、今のデジタルアーカイブの次元が高くないんです



うめばやし ひでゆき  
梅林 秀行  
京都高低差産会産長



ジャパンサーチにおける「つなぎ役」の概念図



げるようになりました。これを国立博物館だけでなく、地方の博物館とか、財団の博物館とか、そういうところまで広げていけば、おそらく量的には相当広がると思います。情報の調整がつくのであれば、もう少しエンドユーザーにとっても使いやすい形、項目なり説明なりを揃えていきましようねという動き方ができるんじゃないかと思うんですけど。

大向 情報システムを作る人と使う人で、本質的なギャップは必ずあります。それは、データが集まってくる流れと、データを必要とする人の流れが違うということだと思っんですよね。例えば梅林さんが必要とされる資料のすべてを一つの組織が持つていることはあり得ない中で、ジャパンサーチは組織同士の連携で情報を集めていく。一方で、情報を見る人は組織とは別のくくりで整理されていることを期待する。この距離をどうやって近づけたらいいかという。悩むし、答えはないけど。

実用面では、ジャパンサーチから個別デジタルアーカイブへの動線はいつばいありますが、そこから戻ってくる方法、行き来することまでは整備できていないと思いますね。

梅林 話が戻るけれど、ジャパンサーチの検索結果と、そこから先の所蔵機関のページであまり違いを感じない。中間サービスならではのものが欲しいなあと思います。注がいつばい付いてくるとか。たとえば、ある文化財資料に対して、「それを使った論文で最も引用されたのはここですよ」とか出てくるとめっちゃくちゃいいですね。

——論文を連携対象に入れるかどうかは



けっこう議論になったんです。入れたらほとんどNDLサーチと変わらなくなるんじゃないかと。

大向 何のデータを入れるかという観点よりは、何のために入れるかということだと思っんです。そこが明確になつていると、データを必要としている人の流れに近づいてくると思っんです。

私も論文検索を自分で使っているときは、「この先生の弟子の論文を教えてください」と思っんですよ。論文情報からは弟子はわかんない(笑)。もちろん、共著者の情報からわかることもありますが。本当に欲しいのはそうした「知識」であつて、それはデータを丸ごと

入れてみようということとは何か違うはずなんです。論文データを入れるにしても、少しコントロールできる部分があるなら、入れる価値もあるなど。

田良島 丸投げみたいなんですけど、情報学的に解決してほしいと思います。昔なら手作業で、たとえば論文とそれに使われた画像の紐付けをやって

いたんでしょうけど、現実は今、ミュージアムにそれをやれと言うのは無理です。そこは情報学的な解決手段はありませんか。たぶんできるんじゃないですか？

大向 まあ、できます(笑)。100%

でないにしても、持っている資料の集まりをどのような形につなぎかえたい

のか、議論したらアイデアが沢山出てきて、その中には解決可能なものがあると思います。

ところで、梅林さんのこの地図、すごくかっこいいですね、ちなみに色付けはどうやって？

梅林 これはカシミール3D<sup>(1)</sup>という、国土地理院がオープンにしている数値を地図化するアプリを使いました。ユーザーが最終的な処理までやりません。等高線何m以上は塗るとか。

大向 高い低いは古文書に記載された



究極は、全然違うところから新しい情報を持つてきたいという人に対して、その機会を提供できること

情報ではなくて、衛星からのデータなんです。じゃあジャパンサーチで衛星データを入れるのかというと、そうはならないのかな。まあなつたらなつたで面白いけど(笑)。これができるんだつたら、雲のデータと合わせてみようとか、無限に考えつくわけですけども。

究極は、全然違うところから新しい情報を持つてきたいという人に対して、その機会をきちんと提供できること。人によっては、古い資料や地図がどこにあるのか全く想像がつかないかもしれない。ジャパンサーチはそういう人に対して、ここに行けばこんなのあり

## フィードバックと働きかけ

田良島 情報を出す側にとって、デジタルアーカイブの公開がなかなか進まないという話は、行政的に言うと、公開することの評価がしづらくて優先順位から落とされるという側面が強いん

ますよ、と言うこともできるようなつたらいいと思う。この地図みたいに、何十年前はできなかったような可視化ができて、しかもこれを使って街歩きをされる、昔の人が聞いたら「何をやっているんですか!？」というようなことも起こせる、ジャパンサーチがそういう舞台の一つであってほしいな

梅林 ヒットした情報にダイレクトに進むだけじゃなくて、そこから学びが広がるような形ですね。ユーザー側のリテラシーが上がるきっかけにもなりそうです。

です。展覧会であれば何人入ったとか、展覧会批評で評価されたとか、見えやすい。ネット上のデジタル情報の公開は何を指標にするかがわかりづらい。こういう使われ方がされるんだという

フィードバックが可視化されると、必要性を理解してもらいやすいと思っています。

大向 フィードバックは本当に大事です。提供側のモチベーションとしても

(笑)。ネットサービスではユーザーの顔は見えないし、ただアクセス数のグラフが上がった、下がったくらいしかわからなくて。ただ、フィードバックは待ってたら勝手に来るわけではないので、突っ込みどころを残しておいた方がいいんじゃないかと。他の人が埋めたくなる空白みたいな。みんながワイワイ盛り上がって、やりたいなと思う人が勝手に作って、それがジャパンサーチ本体に取り込まれると嬉しい、という仕組み。システムの作りの中にコミュニケーション的な要素を多少なりと入れるとよい。

梅林 今たとえば「梅林のコレクション」みたいなものをジャパンサーチで作れるんですか？

——はい、マイノート機能で作れます。作ったものをCMS形式等でエクスポートもできます。

大向 ジャパンサーチ上でマイノートの公開はできないんですね？

——仲間内で共有して共同編集ができる機能の開発を進めているところです(正式版公開時に「共同編集機能(ワークスペース)」をリリース予定。ただし申請制)。研究者の方々とか使ってくれればいいかな。

梅林 ユーザーはいるでしょう。

——どういった「コミュニティ」に働きかけていくとより有効でしょうか。

田良島 それこそ梅林さんがやっているような小さな研究会で使って、その結果をどこかサードパーティー(第三者団体)などに返していくとか。学会とかシンポジウムとかでできたものがあって、そこから「こう使いました」というのが返ってくるプロセスがある



と、とてもいいと思います。

大向 私の身近なところではウィキペディアタウン<sup>(1,2)</sup>。よその地域でこんなことをやって盛り上がっているらしい、うちでもやりたいなと思った時に、

サツと、やり方とかそれに関する資料が一通り、完璧じゃないにしても揃うとか。ジャパンサーチの使い方を含めた提案みたいなのが打ち出せるといいと思います。

## ジャパンサーチの未来

——これまで出た意見でも構いません、ジャパンサーチへの期待や今後についてお話しただけですでしょうか。

田良島 私としてはやっぱり立場上、今後のミュージアムの情報のオープン

データ化、ジャパンサーチに参画してくださいね、ということを進めていかないといけないと思っています。おそらく特に公立館は、生き延びる意味でも必須だろうと。先ほど梅林さんがおっしゃったように



「見るだけ」という前提でできている部分が多いので、これが一番クリアしなければいけない問題です。深刻な理由がある場合もあるんですけど、安直に制限をしているという側面もあるのが否めません(苦笑)。「まあ制限しておけばいいだろう」くらいの感じで。それは無責任なので、制限するならばちゃんとした利用条件を定めなければいけない。トータルはきちんと詰めて今の条件(CC BY)を出してきているので、ミュージアム全体の意識として働きかけをしていきたいです。

大向 一つは、提供側もシステム側も含めて、この先のことは全然わからないということをちゃんと認めることだと思う。そもそもネットサービスは、最初の2年間くらいはすぐに理解されるところは思っていない。その間はじつと耐えてほしいと思う。2年経つうちに、誰も想定していなかった使い方がきつと現れるだろうと。それが出てきたら勝ちだと思います。それまでは、文化資源のライセンス検索エンジンとして打ち出す方向性も考えられます。ライセンスを手がかりにまとめて検索できるサービスは日本では他に存在しませんから。働きかける先は、はっきり言ってわかりません。ただ、徹底してアウェイじゃないとダメだと思います。図書館の周りとか、博物館の周りとかを回っているだけでは、驚くような使い方は出てこないと思います。なので、2年後の形をできるだけ先入観を持たずに、とにかく動かしていくことが必要だと思います。

ただ集めただけでは出てこない情報が引けるようになったら、大きな価値になります。弟子の話もそうだし、注釈とか、知識を新しい観点で見せることができれば、これも一つの勝ちパターンだろうなど。期待しています。

**梅林** 検索できる点数をどんどん増やして、引つかかるデータが増えてほしい。おっしゃられたように、いつものメンツじゃなくて、地方や小規模の資料所蔵機関とかがカバーできればいいなど。

でもそれは横断検索のみの話で、今日のお話の中でなるほどなど思ったのは、ジャパンサーチって中間支援的なものもあるんじゃないか、ということ。単なるシステムだけじゃない、機関としてのジャパンサーチでしようか。単にデータを総覧できるだけじゃなくて、データ化のプロセスを働きかけたりするよう。おっしゃるようにデジタル化を渋るところも多いですし、データ化されても、たとえば解

像度が低すぎて使えないんですよ(苦笑)。ユーザーがどう使うのかということはどうリアルに想像するか。ジャパンサーチ経由でユーザーがどう関連してくるか、どういうデータとどういうデータが使われているか、どこに出

ていつているんだろうか。そういう観点で、もう少しシステム設計で入ってほしいですね。わがままな意見ですけど。ユーザーの求めることが高いんじゃないかと、今の次元が高くないんですよ。やっぱり600dpiとかそれくらい最低限でデータは出してほしい。でないと拡大できないので。せめて国宝だけでも出してくれ(笑)。

——ありがとうございます。最後に、NDLが関与していること、図書館がやっていることの意義についてコメントいただければ。

**田良島** まず、文献資料に関する蓄積、デジタル化や他機関との連携に関して、非常に豊富な実績をお持ちであ

る。そういう意味で安心してお願いができる。たぶん代わってどこかでやれと言われても、これだけの話を現状では受けられるところはないでしょう。自前の開発チームを用いて柔軟に対応をしていただけというところもあり、現状ではベストな選択。ただ今後、将来的に全く別のタイプの資料所蔵機関、もっと幅広い所蔵者に対応していくという時になったら、どういう組織が担うべきかは議論の余地が出てくることもあるかもしれません。

**梅林** 僕も同じで、ユーザーからすると、ジャパンサーチをやりうるとしたらNDLさんか国立公文書館かなと。高解像度でデータがダウンロード可能でかつライセンスもはっきり明示しているという2強なので。信頼感がありますね。

**大向** NDLさんは国立国会図書館法の前文に「真理が我らを自由にする」というものすごい「ビジョン」を掲げ



ていらっしやって、長尾真元館長は「知識が我らを豊かにする」とおっしゃった。今、知識の定義が急速に変わっています。もともとは本に書かれた情報が想定されていたけれども、本も、作品も、注釈も、見えない関係性も、全てが知識であるという世界に突入しているという現状なので、やるのは当然なんじゃないですか、と（笑）。自信を持って取り組んでいただきたい、それに尽きます。

——はい！ 今日はいろいろなアイデアをいただき、本当に感謝の気持ちがありました。



1 <https://dl.ndl.go.jp/>

2 <https://www.digital.archives.go.jp/>

3 「史料情報の電子化とオンライン流通に関する諸問題」『古文書研究』日本古文書学会 編 ( 通号 40) 1995.3

4 国立情報学研究所が運営する学術論文や図書・雑誌などの学術情報データベース。 <https://ci.nii.ac.jp/>

5 コンテンツの内容や所在等について記述したデータ。図書館の書誌データ、博物館・美術館の収蔵の目録データなど。

6 文化庁が運営する日本の文化遺産についてのポータルサイト。 <https://bunka.nii.ac.jp/>

7 著作物の適正な再利用の促進を目的として、著作者が著作物の再利用についての意思表示を手軽に行うための国際的プロジェクト。

8 EU による文化遺産のためのデジタルプラットフォーム。 <https://www.europeana.eu/en>

9 国立博物館所蔵品統合検索システム <https://colbase.nich.go.jp/>

10 <https://iss.ndl.go.jp/>

11 個人の開発による登山者向け 3D 地図ソフト。 <http://www.kashmir3d.com/index.html>

12 地域の文化財や観光情報をウィキペディアに掲載している町、また掲載を行うイベント。

# ある人がジャパンサーチで調べてみた

～ある人が国立国会図書館のインターネットサービスで調べてみた 番外編～



学校の先生からメールがきたよ。

在宅学習で、地域の歴史に関することについて調べて、学校のホームページで発表してみませんか。

そんなときは「ジャパンサーチ」がおすすめニャン！



Google や Yahoo! はいつも使っているけど、信頼できる情報だけとは限らないよね。

ジャパンサーチで「蚕」を検索してみよう。

いろいろな資料がヒットしたよ！

この地域では昔養蚕がさかんだったのよ。

へえ～。じゃあ蚕について調べてみようかな。

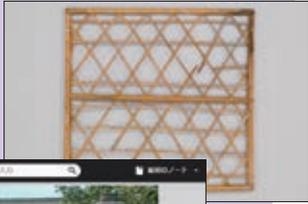


気になる資料の♡(ハートアイコン)をクリックすると、簡単にマイノート(9ページ参照)に保存できたよ。



千歳譜 (国立国会図書館所蔵) より  
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2576061>

※正式版のイメージ画面



蚕座（国立民族学博物館所蔵）  
[https://jpsearch.go.jp/item/nme\\_mocat-H0035672](https://jpsearch.go.jp/item/nme_mocat-H0035672)

耕作図屏風（東京国立博物館所蔵）  
[https://colbase.nich.go.jp/collection\\_item\\_images/tnm/A-11152?locale=ja](https://colbase.nich.go.jp/collection_item_images/tnm/A-11152?locale=ja)



群馬県富岡市（NHK「みちしる」）  
[https://jpsearch.go.jp/item/michi-D0004430099\\_00000](https://jpsearch.go.jp/item/michi-D0004430099_00000)



連携先のページに遷移すると一覧を見たり、画像のダウンロードができるニャ。



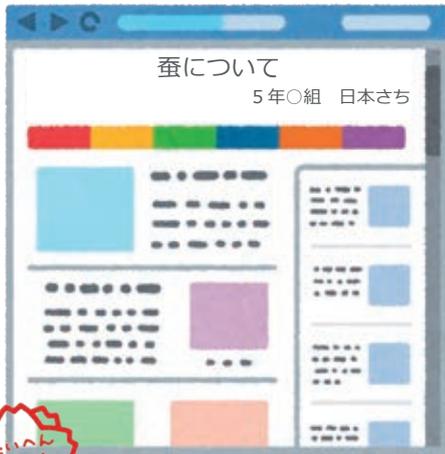
これらは許可なくウェブに載せられないけど、見てだけでもおもしろいなあ。



CC BY  
クレジットを表記すれば利用可



PDM  
自由に利用可  
(パブリック・ドメイン)



ホームページで公開しても大丈夫だね。



記事にまとめた！  
先生が学校のホームページに公開してくれたよ。

学校のホームページに載せていいか条件を確認しよう。



ギャラリー「蚕」  
<https://jpsearch.go.jp/curation/ndl-mXEw6EQ2gRj>  
蚕に関するいろんな絵や解説が集まったページ

次は夏休みの自由研究でもジャパンサーチを使ってみようかな。



ねごろ  
(絵：根来南)

おうちからこんなにいろいろなものが見られるんだね。



図書館も博物館も閉まっちゃってるもんね。

# 本の森を歩く

第23回

## 記述の形式について

井田 敦彦

はじめに

図書とは人間の記憶を保存する社会的な手法の一つであると言われて<sup>①</sup>います。

図書に保存される記憶は我々が捉えたこの世界であり、その保存は一般的には、文字という記号の羅列によって行われます。最初の文字から最後の文字まで順番に読み進めることで意味が生まれ、著者が捉えた世界が理解されます。

図書の多くはいくつかの章立て、改行などを交えながら文章が連続する形式になっていますが、中には少し変わったものもあります。

今回はこうした記述の形式に着目して、本の森を歩いてみたいと思います。

### I 数学的な記述形式

本の森である図書館では、利用者

が本を見つけやすいように、図書分類法と呼ばれる方法が用いられてきました。例えば日本十進分類法では、「技術」は「5」で、技術の中の「電気工学」は「54」で、電気工学の中の「情報工学」は「548」で、情報工学の中の「コンピュータ」「電子計算機」は「548.2」で表されます。これにより理念的には、知識の体系化が可能になります。

オーストリア生まれの哲学者ウィトゲンシュタイン（1889～1951）の『論理哲学論考』という本は、「短文の集積を、図書整理のような番号によって秩序づけた、およそ風変わりな構成をとっている<sup>②</sup>」と言われます。冒頭部分は次のとおりです。<sup>③</sup>

- 一 世界は成立していること  
がらの総体である。
- 一・一 世界は事実の総体であり、ものの総体ではない。

一・一 世界は諸事実によって、

そしてそれが事実のすべてであることによって、規定されている。

一・二 なぜなら、事実の総体は、

何が成立しているのかを規定すると同時に、何が成立していないのかも規定するからである。

一・三 論理空間の中にある諸事実、それが世界である。

この記述形式は法律の条文やプログラミング言語を思わせます。

また、オランダの哲学者スピノザ(1632~1677)の『エチカ』という本は次のような構成をとっています。<sup>(4)</sup>

定義

一 自己原因とは、その本質が存在を含むもの、あるいはその本性が存在するとしか考えられえないもの、と解する。

二~八 (略)

公理

一 すべて在るものはそれ自身のうちに在るか、それとも他のものうちに在るかである。

二~七 (略)

定理一 実体は本性上その変状に先立つ。

証明 定義三および五から明白である。

……

これは対象の「定義」と自明な「公理」から出発して、一見自明でない「定理」を導いていくという幾何学の記述形式によったものです。その記述形式は、古代ギリシャの数学者エウクレイデス(ユークリッド。前300頃)の『原論』という本に由来しています。

数学的な論理によって世界を把握するという考え方は、さらに遡って古代ギリシャのピタゴラス(前570頃~前496頃)に始まるとされています。イギリスの数学者・哲学者ラッセル(1872~1970)

はピタゴラスについて、「思想の分野においては、わたしは彼ほどに影響力の大きかったひとを、他に知らないのである……彼が存在しなかったならば、キリスト教徒たちはキリストを、言葉とは考えなかったであろう」と述べています。『聖書』には、「世の始めに、すでに言葉はおられた……言葉は神であった……一切のものはこの方によって出来た」とあります。そして、「言葉」の集積である図書や図書館にも、数学的な論理の長い影は及んでいます。



(エウクレイデス『原論』(『幾何学原論』))  
Euclides, *Elementa geometriae*, VENETIIS  
[Venice]: Erhard Ratdolt, 1482< 請求記号 WA42-81>  
<https://www.ndl.go.jp/incunabula/collection/>



物語全体の年表があらかじめ提示されている点に特徴があります。物語は各時代の個人の生き方を追い、歴史の詳細を明らかにする形で進められます。

ところで、古代中国の歴史家・司馬遷（前145頃～前86頃）の『史記』という歴史書は、12の本紀（歴代王朝の編年史）、10の表（年表・系図）、8の書（文化・制度史）、30の世家（諸侯の年代記）、70の列伝（個人の伝記）からなっています。このうち表は読み飛ばされることも多いのですが、「司馬遷がまず最初に十表を制作し、絶えずそれを参照しつつ本紀その他の執筆を進めていったと想像してみるのも、あながち的はずれではないように思われる」とも言われています。表は、例えば下の画像のように記述されています（下の抄訳参照）。

すなわち、上から一行目は右から順に、黄帝以下歴代の帝王の名が記され、二行目以下では、顓頊、啓、堯、舜（以上黄帝を含め五帝）、そして夏、殷、周の歴代王朝の、一行目の各帝王の治世における血統が記

されています。

『史記』は本紀や表で政治史の基本的な枠組みを提示するとともに、各時代に様々な面で人間としての存在感を示した個人を列伝で描写するという構成をとっています。このように俯瞰して接近する、いわば鳥の目と虫の目を行き来するような発想は、辞書や事典などの図書館の参考図書にも（あるいは図書館という制度そのものにも）見ることができません。



『史記』巻13（漢）司馬遷撰 [他]  
[慶長元年間] <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2544151/3>

表の抄訳

帝孔甲、不降の子。鬼神を好み、淫乱にして徳を好まず。二龍去る。	帝啓、有扈を伐ち、甘誓（甘は地名、誓は戦いの直前の誓約）を作る。	帝顓頊、黄帝の孫。黄帝に起こり、顓頊に至るまで三世、高陽と号す。	黄帝、有熊と号す。	帝王世国号
		昌意、顓頊を生む。高陽氏たり。	黄帝、昌意を生む（黄帝の子が昌意である）。	顓頊属
		玄囂、蟠極を生む。	黄帝、玄囂を生む。	啓属
		昌意、顓頊を生む。顓頊、窮緝を生む。	黄帝、昌意を生む。	堯属
		昌意、顓頊を生む。	黄帝、昌意を生む。	舜属
	相土、昌若を生む。	玄囂、蟠極を生む。蟠極、高辛を生む。	黄帝、玄囂を生む。	夏属
	公劉、慶節を生む。	玄囂、蟠極を生む。蟠極、高辛を生む。	黄帝、玄囂を生む。	殷属
				周属

セルビアの作家・文学史家ミロラド・パヴィチ（1929～2009）の『ハザール事典』は、歴史上から姿を消した謎の民族ハザールに関する事典の形式をとった小説で、通読せずに読みたい項目だけを読むこともできますし、ある項目から別の項目を参照しながら、物語を好きな順序で読み進めていくこともできるようになっています。ちなみに、同じ著者の『帝都最後の恋』は、巻末付録のタロットカードをシャッフルし、出たカードの順に対応する章を読んでいくこともできる小説、『風の裏側』は裏表紙がなく、二つの表紙からそれぞれ始まる二つの物語が本の真ん中に向かって進んでいく小説です。本の真ん中には海を思わせる青いページがあります。<sup>(12)</sup>

#### IV 記述しない記述形式

前章の最後で述べた『風の裏側』という小説は、「ヘーローとレアンドロス物語」という副題が示すように、古代ギリシャの悲恋物語を下敷きにしています。同様に、和歌に

は有名な古歌の一部を用いて作歌し、取った古歌の世界を自歌の背景とすることで、歌に奥行きを与える本歌取りという技法があります。これは字数の制約を逆手に取った技法とも言えます。俳句はその短さゆえに、省略を巧みにするということが言われています。<sup>(13)</sup>

一般に、意を尽くそうとすれば記述は長くなります。では、俳句のように記述を短くすることの意味はどこにあるのでしょうか。

例えば、フランスの哲学者ベルクソン（1859～1941）は分析と直観を区別します。分析とは、ある物を文字などの記号に翻訳して一歩離れて説明しようとする事、つまり「その物のまわりを回ること」で、意を尽くそうとすればするほど、様々な観点からその物のまわりをぐるぐる回り、記述は無限に長くなります。これに対し直観とは、我々がある物の内部に移し入れてこの物に我々を一致させる共感をいい、「その物のなかに入ること」とされま

す。<sup>(14)</sup> この「直観」は分かりにくいです

が、ベルクソンの考え方と日本の思想（特に禅という形での仏教の思想）には、「共通の精神が存する」とはかくも明らかであって、この二つの間の本質的親和性を無視することはできぬ……この類似性は、相互に類似の直観の方法を採ることから生じている」と言われることもあります。<sup>(15)</sup>

禅の公案（課題として与えられる問題）は、例えば次のように記述されます。「風穴和尚は、あるとき僧に、「ことばも沈黙も、所詮は実在の半面しか示すことができないのですが、語っても黙しても実在そのものに通じるにはどうすればよいでしょうか」と尋ねられ、「いつも懐しく憶い出すのだが、江南は春三月ともなると、鷓鴣が鳴き、百花が咲き乱れるのだ」という杜甫の詩をもって答えられた。<sup>(16)</sup>

俳人・種田山頭火（1882～1940）に次の句があります。「言葉が解らない隣りにをる。<sup>(17)</sup>

一人の顔、一つの場面などが、一冊の本以上に意味を喚起することが

あります。それは本や言葉の時系列的な記述に対し、並列的で同時的な記述ですが、その方が我々の記憶の在り方により近いのかもしれない。

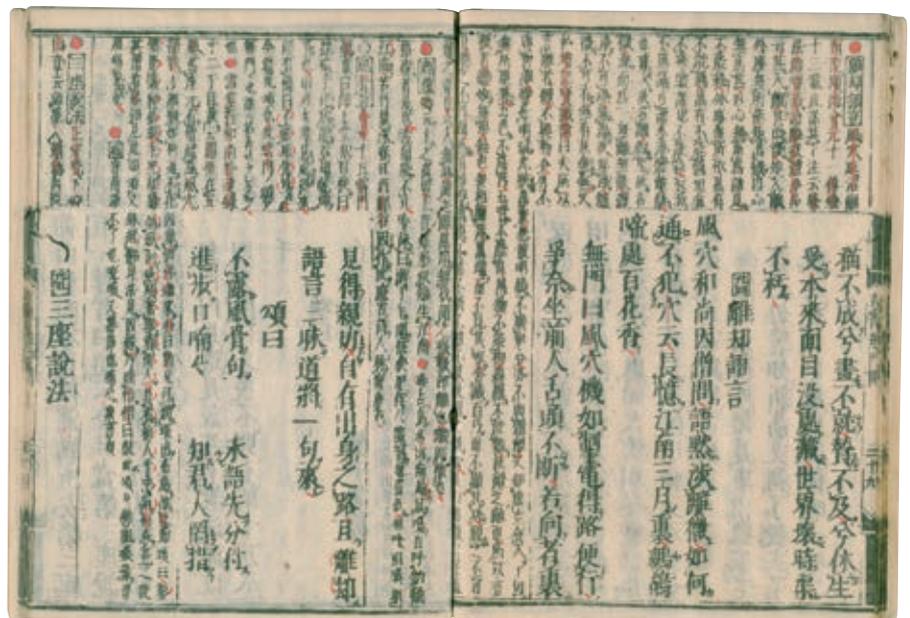
### おわりに

図書館は、人類の記憶を保存した図書を、生きている個人の意識に還元する社会的な装置の一つであるとされています<sup>18)</sup>。

それは実用的な知識が得られる場所であるとともに、多数の記憶を渉猟し、自分なりに再構成して思いをめぐらすことのできる場所でもあります。

我々は自ら本は書かないにしても、自分と他人の多数の記憶をもとに、自分なりの記述の形式で世界を理解し、一生を終えます。

図書や図書館はその寓意のようにも思えます。



『鼈頭評註無門関』村上勘兵衛 寛文6 [1666]  
<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2537644/32>

- 1 ピアス・バトラー (藤野幸雄訳) 『図書館学序説』日本図書館協会, 1978, p.23.<請求記号 UL21-26>; Pierce Butler, *An Introduction to Library Science*, The University of Chicago Press, 1961, p.xi. HathiTrust Digital Library <<https://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=mdp.39015004125723&view=1up&seq=15>>
- 2 鶴見俊輔ほか編『ちくま哲学の森 2 世界を見る』筑摩書房, 2011, p.384.<請求記号 H15-J138>
- 3 ウイトゲンシュタイン(野矢茂樹訳)『論理哲学論考』(岩波文庫) 岩波書店, 2003, p.13.<請求記号 H151-H5>
- 4 スピノザ(皇中尚志訳)『エチカ 倫理学 上(改訂)』(岩波文庫) 岩波書店, 1975, pp.37-39.<請求記号 HD171-6> 正式なタイトルは『幾何学的秩序に従って論証されたエチカ』。
- 5 パートランド・ラッセル(市井三郎訳)『西洋哲学史 古代より現代に至る政治的・社会的諸条件との関連における哲学史 第1』みすず書房, 1970, p.46.<請求記号 HC1-4>
- 6 塚本虎二訳「ヨハネ福音書」『福音書 新約聖書』(岩波文庫) 岩波書店, 1963, p.275.<請求記号 193.6-Se121h-Ti>
- 7 J.L.ボルヘス(鼓直訳)『八岐の園』『伝奇集』(岩波文庫) 岩波書店, 1993, p.136.<請求記号 KR472-E10>
- 8 ケヴィン・ブロックマイヤー(金子ゆき子訳)『アドベンチャーゲームブック ループ・ゴールドバーグ・マシンである人間の魂』『第七階層からの眺め』武田ランダムハウスジャパン, 2011, p.155.<請求記号 KS152-J335>
- 9 思緒雄二「あとがき 一創土社新版に寄せて」『送り難は瑠璃色の』創土社, 2003, p.233.<請求記号 Y78-H1037>
- 10 吉川忠夫『『史記』の十表と八書』司馬遷(小竹文夫・小竹武夫訳)『史記 2 書・表』(ちくま学芸文庫) 筑摩書房, 1995, p.270.<請求記号 GE265-E42>
- 11 寺門日出男『三世世表第一』『史記 3 上(十表 1)』(新釈漢文大系 40) 明治書院, 2005, pp.3-10.<請求記号 US1-H28>を基に作成。
- 12 以下、いずれもミロラド・バヴィッチ(バヴィッチ)著。工藤幸雄訳『ハザール事典 夢の狩人たちの物語 男性版』東京創元社, 1993.<請求記号 KP286-E2>; 工藤幸雄訳『ハザール事典 夢の狩人たちの物語 女性版』東京創元社, 1993.<請求記号 KP286-E3>; 三谷恵子訳『帝都最後の恋 占いのための手引き書』(東欧の想像力 4) 松籟社, 2009.<請求記号 KP286-J3>; 青木純子訳『風の裏側 ヘーローとレアンドロス』(海外文学セレクション) 東京創元社, 1995.<請求記号 KP286-E4>
- 13 水原秋桜子『俳句のつくり方』実業之日本社, 1960, pp.97-98.<請求記号 911.307-M712h3-z>
- 14 ベルクソン(河野与一訳)『哲学入門』『思想と動くもの』(岩波文庫) 岩波書店, 1998, pp.249-254.<請求記号 HD126-G6>
- 15 九鬼周造(坂本賢三訳(原文はフランス語))『日本の事』天野貞祐ほか編『九鬼周造全集 第1巻』岩波書店, 1990, pp.439-440.<請求記号 HA153-E10>
- 16 無門慧開編(西村恵信訳注)『無門関』(岩波文庫) 岩波書店, 1994, pp.104-105.<請求記号 HM172-E136>「公案は……屋根に上げるハシゴのようなものである。上ぼつてしまえばもうハシゴの用はない」と言われています(秋月龍珉『公案 実践的禅入門』(ちくま学芸文庫) 筑摩書房, 2009, p.126.<請求記号 HM171-J26>)。
- 17 種田山頭火『山頭火全集 第1巻』春陽堂書店, 1986, p.242.<請求記号 KH596-857>
- 18 バトラー; Butler 前掲注(1)

# 国立国会図書館で働いています

no.7

動きが止まることなく  
回転していくイメージは、  
たしかに工場であり、  
車の運転のようですね



複写貸出係は複写と貸出をする係、  
ということでしょうか。

遠隔サービスに関わる4つのお仕事を  
担当しています。1つ目がイン

ターネットで申し込

まれた複写物を提供

する「遠隔複写」、2

つ目が公共図書館な

どに本を貸し出す「図

書館間貸出し」、そし

て3つ目が、一番新

しいサービスですが、

国立国会図書館デジ

タルコレクションの

中でインターネット

公開でない画像を図

書館に送信する「図

書館送信」です。

4つ目は？

この3つを支えてい

る登録制度ですね。

どのサービスを使う

にしても、個人であつ

ても図書館であつて

も、なんらかの登録が必要なんです。

比重としては遠隔複写がとても大き

なインパクトがありますね。図書館

送信も大きなウェイトを占めていま

す。図書館間貸出しは図書館送信が

増えてきているのもあって、減少傾

向です。

図書館送信は申請を許可するお仕事

ということでしょうか。

そうですね。ただ、使う中でシステ

ムがうまく動かないということが

けっこうあって。当館側のシステム

も向こう側のシステムも。よく問合

せの電話が掛かっています。急に見

られなくなっちゃいましたとか。経

験豊富な非常勤さんが対応してくれ

ています。

サポートセンターみたいですね。図

書館送信ははじめて6年ぐらいで

すが、かなり浸透したんでしょうか。

今1,100館ちょっとですね。順

調に増え続けている感じですよ。

複写も実作業はとても多

そうですね、業者さん

にお願いしているんです

か？

大部分は業者さんに委託

しています。遠隔複写の

流れというのは、利用者

の方がインターネットで

申し込むと、こちらでは

申込みの内容が紙に印刷されるよう

にしてあるので、それを持って書庫

に本を取りに行つて、利用者の方の

代わりに「ああ、この人はここがほ

しいんだな」と照らし合わせて、と

いう作業を「特定」と呼んでいます。

業者さんに委託しています。めでた

く特定できたら次はいよいよ複写、

それから請求書を作ったりとか、そ

れをまた別の業者さんに委託してい

ます。

いろんなお仕事を、まるで工場みた

いにたくさん回しているという感じ

ですね。加藤さんは工場長。

(笑) 工場、確かにそうかもしれない

加藤 大地 関西館 文献提供課 複写貸出係長

平成19(2007)年4月 総務部 情報システム課 総括係

平成19(2007)年10月 総務部 情報システム課 システム第二係

平成21(2009)年4月 関西館 文献提供課 複写貸出係

平成24(2012)年4月 // 総務課 総務係

平成28(2016)年10月 // 文献提供課 複写貸出係長

聞き手：総務課編集係  
令和2(2020)年3月23日インタビュー

いですね。そういう例えは初めて聞いた気がしますが、動きが止まることなく回転していくイメージは、ピッタリきますね。

工場長の下にはたくさんの方がいるということですね。

みなさん有能です。業者さんもそうだし、非常勤さんもそうだし、8人いる職員もそうだし。

関西館って、開館した当初は遠隔サービスの拠点と銘打ってはいたけれども、遠隔複写も申込みの数であれば東京の方が多かった。資料自体が東京に圧倒的にあったから無理もないんですけど。でもね、今は逆なんです。ここしばらくの間、関西の方が東京本館で処理する件数よりも多いが続いています。

名実ともに遠隔サービスの拠点となったんですね。新型コロナウイルスの影響は関西館ではどうですか？東京本館と子どもは3月5日から来館サービスを休止しましたが、<sup>1)</sup>まず来館のお客さんは増えているような気がします。周りが閉館しているから、開いているところを探した

ら、関西館にたどり着いたと。あと遠隔複写もやっぱり増えました。

東京本館が休止したらぐわつと増えた感じですか？

2日間くらい、本当にぐわつと増えた時もありました。あとは、じわじわと。だから今、忙しいんですよ。人手を急に増やせるわけでもなく、にわか仕立てはちょっと無理だし。けっこうみなさん、しんどい中、頑張ってくれていますね。

◆ ◆ ◆  
以前に複写貸出係にいらしたのが10年くらい前ですが、変化はありますか？ その時は係員で、今係長さんですが、工場長としてみんなに目配りしたりとか。

それはやっぱりありますね。係長って、現場と、もう少し上の政策的なことを考えてる人をつなぐ立場だと思うので。あんまり「上」「下」って好きじゃないけど、そういう人たちの考えを私なりに理解して伝えることもあるし、逆に現場の、工場の声を上の人と共有する。どの係長さんもそうだと思いますけど。特にこ

こは、いろんな立場の人と一緒に仕事してるのが特色ですね。

入館当初は東京で情報システム課に2年いらしたんですね。システムにお強いのですか？

まったく（苦笑）。人事課長に「あなたの配属は情報システム課です」と言われたとき、間違えたのかしらと（笑）。総務省の研修なんかも活用して、システムの基礎を学ばせてもらってありがたかったですね。今でも結局、業務の基盤にシステムが常に寄り添っているから、ちょっと課題があるときとか、最初の経験は確実に生きていると思いますね。

そのあと関西館の複写貸出係、そして関西館の総務係。総務係はいろんな人と会うことが多そうですね。

ツアーとか見学で関西館に来てもらった人たちに、関西館のことを知ってもらうというの、とても楽しかったですね。展示とかイベントもあるし、広報対応とかもあります

た。

近隣の機関の方と会ったりとか？

そうですね。市民公開講座って今でも続いているイベントがあって、関西文化学術研究都市推進機構さんや大学との共催という形で。事前の準備とか、懐かしいですね。

最初の二部署ぐらいいは、毎日必死で、時々利用者さんに怒鳴られたりして（苦笑）。総務係からかな、それなりに「楽しい」という思いを持って仕事に関われるようになった。イベントの対応とか、やっているときはめっちゃ大変なんです。いろんな人の迷惑の間で動く、事務方ってそういうもんですよ。でも振り返ってみれば、何百人も来られるイ



複写箇所の特定等で難しいものの判断を職員が行います。

(1) インタビュー後の4月11日、関西館の来館サービスが休止、遠隔複写も4月15日受付をもって休止しました。その後、5月20日に遠隔複写の受付を再開、6月4日に来館サービスも再開しました。

ベントが無事終わって、先生も聞いた人も満足して帰られて、ああよかったな、と。

◆ ◆ ◆  
入館前は車の営業をしておられたか。

すぐに辞めたんです(笑)。向いてなくて。車が好きで就職したんですけど、もちろん車は今も好きなんですけど、仕事をちょっと軽々しく選びすぎたなど。

で、一念発起して、外務省の専門職員試験を受けたんです。語学の専門家として、外交官を支える仕事です。大学で学んだスペイン語を活かしていきたいと思って。

そもそもスペイン語を勉強されようと思ったのはどうしてですか？

大学を受けるときに外国語をやりたいと思って、でも英語は高校までやっていたし、自分で勉強する道もあるだろうと。スペイン語は多くの国で話されているので、それでいいか、とわりと安直に。

でも学んでみたら、スペイン語に愛着が？ 職員向けの新人自己紹介文

にはアントニオ・マチャード<sup>(2)</sup>の岬に  
関する詩を引用されていますね。

だいたい私の職業でも学業でも、すんなり行ったことは1回もないですね(苦笑)。何回か挫折しかけました。それこそ、すれすれの岬のへりまで行って、強い潮風に当たって、「ああ、いかん！」と戻ってくるみたいなんです。でもそのたびごとに不思議なんですけど、スペイン語への思いは、実際に勉強していたこととは別に、深まるんですよ。

今でもスペイン語の本を読まれたりしますか？

なかなか時間が取れないんですけど、読みたいという思いは常にありますね。

で、外務省を受けた結果は……？

二次選考で落ちました。でね、国立国会図書館(NDL)の試験というのが、外務省の試験と全く同じ科目で受験できるんですよ。今もそうかわかりませんが、同じ準備をしておけば、あっちもこっちもという。それで、こっちは受かったんです。

そんな効率の良い受験があるとは知

りませんでした！(笑)

受かってみて、当時まだ結婚していませんでしたが、妻の両親からは、外務省に行くよりこっこのほうが断然いいって(笑)。外務省だとなかなか日本に帰ってこれないらしいので。

なるほど。名古屋ご出身とのことで  
すが最初以外はずっと関西勤務なのはひよつとして……

そうなんです、妻の実家がある広島に近いからなんです。入館1年目の冬に双子を授かって、無事に生まれるかどうかというぐらいだったので、ぜひ関西館に行かせてくださいと上司に相談して。預けるとか、来てもらおうとか、関西だから何とか子育てできたのかなど。あともう1人、こっちに來てからさらに生まれて、みんな女の子で鳥かごみたいな毎日です。

そういうことだったんですね。ちなみに、ストレス解消はやはり車の運転ですか？ 素敵な車をお持ちですか。

ずっと輸入車に乗っているんですけど、妻からしたら非難的で。国産

車とどこが違うのって(苦笑)。金食い虫だし、しかも今の車は黒くて目立つし、大きくて扱いにくいし。7人乗りなんですけど、実家帰ると両親入れて7人、去年の10連休に、私の親と妻の親、それぞれ別口ですけど旅行に行けたので、良かったなと自負しています。

すごく家族思いですね。そして車が  
本当にお好きなんですね。

ドライブ楽しいですよ。小さい時からメカが好きかというところ、全然そんなことないし、今も分解とか改造とかもしないんですけど、運転そのものが楽しいです。

こじつけですけど、車を運転することと、今「工場」を運営していることとちよつと似ているのでは？

もしかしたら似てるかもしれないですね。いろいろなところを見るとか、1個の感覚だけじゃない感覚でやっているところとか、そうなのかもしれないですね。目だけじゃなくて手も頭だけじゃなくて体も、とか。

あ、あと、ストレス解消といえば、飼っている猫が2匹いるんですよ。動物愛護センターからもらった姉妹で

(2) Antonio Machado (1875-1939)。スペインの詩人。「98年代」(1898年の米西戦争の敗北を何らかのかたちで創作の契機とした作家の一群)を代表する一人。

す。猫って、何それっていう、動きするじゃないですか。間合いとか、踵の返し方とか。

わかります！ 見ていて飽きないですよ。

◆ ◆ ◆  
最後に、これからNDLがどうなっていくかよと思いませんか。もしくは自分のやっているお仕事をごうしたいな、とか。

最初は、大上段に構えた考えっていうのが好きだったんですよ。でも、10年ちょっと過ごしてみて、ちょっと違った感じ方、仕事の仕方をするようになった。むしろ、慎重めな、控えめな、そういうお仕事を自分としてはしていきたいなと思って。生き方は本当に一人一人だと思っから。一人一人ってどういうことかと言ったら、そこでその人がどうしますか、というのが問われていると思うんです。こんなことを四六時中考えているわけじゃないんですけど、おりおり、倫理的な問いとどうか、仕事の内容についてもそうですけど、時の過ごし方として、自

分自身に問いかけています。あんまりすっきりする言葉がないですが。

言葉にすると違ってしまつていふとですか？

でも言葉を使うしかありませんよ。言葉でしか表現することはできないけど、また、そういう言葉で表現されたものをすごく膨大に持っているのが我々の図書館ですけど、それで全部じゃない。人の生き方はすべてではない、ということだと思えますね。

なんか詩人ですね。

だから「真理が我らを自由にする」というのは、確かにそうだなって思うけど、自分はどうですか、あなたはどうか、と聞かれたら、そういう大きな枠の話よりも、自分にとって、誰か一人にとって、どうなのか。その人の人生で、私の人生で、いい本一冊との出会いがあるのかどうか。その日その時、今の相手と、その時の誰であれ、利用者の方だったたり同僚だったたりいろいろあると思うんですけど、人じゃなかったりもするのかな、そこをどう過ごす

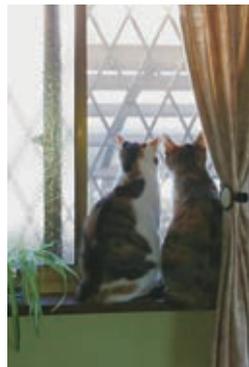
か。あとはやっぱり家族ですね、私にとつては。家族はとても大切ななとしみじみ思いますね。

そうですね、猫含む。ええ、猫を含みます。

◆ ◆ ◆  
(6月24日追記)

その後、遠隔複写の受付は休止になり、一か月ぐらいして復活しましたが(29ページの注(1)参照)、工場はどんな様子ですか。

休止後しばらくして全ての申込みが発送され、人気もなくしんと静まり返った事務室で、不意におとずれた休息に戸惑う「工場」の長い長いため息を聞いたような気がしました。工場長の白昼夢……その後再び「工場」に火が入り、今は夢見る暇もありません。

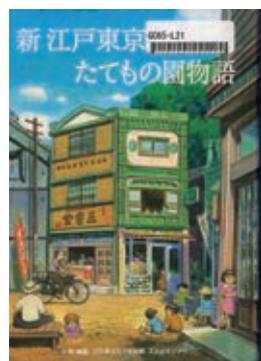


(上) 展示の仕事で解題を執筆した、フランス文学者渡辺一夫の『フランソワ・ラブレー研究序説』。古本を私物として入手し、今も机の上に。  
(下) 三毛猫姉妹ウメちゃんとシャケちゃん。

# 本屋に

# ない

# 本



## 新江戸東京たてももの園物語

江戸東京たてももの園、スタジオジブリ 企画・編集  
東京都江戸東京博物館 2014.7 447p  
20cm  
<請求記号 GC65-L21>

東京の町は新陳代謝が激しい。特に都心では新しい建物が目につく一方、江戸時代はもちろん、明治や大正、昭和初期の民家はなかなか見つからない。世代を超え受け継がれる建物がわずかな東京で、過去と現在のつながりを感じる機会はそう多くないだろう。

そんな都内の貴重な建物を移築した施設が、東京都小金井市の江戸東京たてももの園（以下「たてももの園」）である。本書は同市を拠点とし、たてももの園とも繋がりの深いスタジオジブリが企画編集したものだ。藤森照信の解説を軸に宮崎駿や高畑勲らの対談、住人の証言などが盛り込まれた、案内書というより読み物と呼ぶ方がふさわしい一冊である。

国立国会図書館東京本館に携わった前川國男の私邸など、たてももの園には有名建築家の作品や著名人の邸宅もあるが、移築物の多くは一般の民家だ。神田にあった花市生花店（昭和2（1927）年築）は平坦な正面を銅板等で飾った看板建築と呼ばれる類の建物で、洋風のデザインが目を引き、しかし華やかな外観とは裏腹に、江戸の雰囲気が残る和室の居間はたったの2畳。かつて下町では店の空間確保のために台所を潰す例もあったといい、この間取りは当時の生活を伝える貴重な資料と言える。一方、同時期（大正14（1925）年）に西片に建った小出邸は応接間に椅子やテーブルが置かれ、生活空間まで洋風化が進んでい

る。建築の経緯や家庭の状況に関する元住民の回想を読むと、下町・山の手両文化圏の違いや往時の建物の様子がより生き生きと伝わってくるだろう。

なお巻末の学芸員のコラムでは、これら移築物の復元の舞台裏を知ることができる。たてももの園は建物自体の復元と生活感の再現の両立を目指し、調査に基づき可能な限り理想的な展示をするよう試みてきた。その好例が、外は創建時の江戸末期頃、中は聞き取り調査による昭和20年代という折衷的復元がなされた青梅の万徳旅館である。時代がちぐはぐではないかと首を傾げる人もいるだろうが、各パーツの設定年代を符合させて建物全体を復元することは困難だ。一口に復元と言っても、

建物ごとに様々な対応をしなくてはならない学芸員の苦悩が感じられる。

建築の専門家から一般人まで幅広い視点を含む本書は、昔の暮らしの様子や建物の魅力を多面的に伝えてくれる。町の姿が日々更新されていく中、かつての東京を知る鍵としての本書の意義は日増しに大きくなっていくだろう。

余談だが、私は本書の読後に初めてたてももの園を訪ねた。先に読むか、後に読むか。私は少し迷って前者を取ったが、もちろん後者を選択した人や常連客にも、ページを手繰ることに新しい発見が待っているはずだ。

（辻慎太郎）

国立国会図書館は、法律によって定められた納本制度により、日本国内の出版物を広く収集しています。このコーナーでは、主として取次店を通さない国内出版物を取り上げて、ご紹介します。

## 国際子ども図書館展示会

### 「世界のバリアフリー児童図書館展——IBBY 選定バリアフリー児童図書2019」

国際子ども図書館では、7月28日（火）から8月30日（日）まで、展示会「世界のバリアフリー児童図書館展——IBBY選定バリアフリー児童図書2019」を開催します。

バリアフリー児童図書とは、本を読むときにページをめくったり、文字を認識したり、読んで理解したりすることにバリア（障害・障壁）がある子ども、障害のない子どもも共に楽しめるように、さまざまに工夫された本のことです。

この展示会では、IBBY（国際児童図書評議会）が2019年に選定した、世界20か国のバリアフリー児童図書40作品を展示します。

点字の絵本、布の絵本など、障害のある子どもにも読みやすい本に加えて、障害を理解するための本なども紹介します。

○開催期間 7月28日（火）～8月30日（日）

※月曜日、8月19日（水）は休館

※開催予定が変更になる場合があります。最新情報については、国際子ども図書館ホームページなどでご確認ください。

○開館時間 9時30分～17時

○会場 国際子ども図書館レンガ棟3階本のミュージアム

○問合せ先 国際子ども図書館資料情報課展示係

電話 03(3827)2053（代表）



世界のバリアフリー児童図書館展ちらし

## 資料のデジタル化に伴う原資料の利用休止について

国立国会図書館では、所蔵資料の保存と利用の両立を図るためデジタル化による媒体変換を行い、作業が終了した後は、原資料に代えてデジタル化資料を提供しています。このデジタル化作業のため、以下のとおり一部の資料の利用を休止します。

①令和2年7月1日～令和3年3月31日（予定）

・関西館所蔵の国内博士論文 約12,900件

②令和2年8月1日～令和3年3月31日（予定）

・東京本館所蔵の和図書 約9,200冊

・関西館所蔵の和図書 約400冊

・国際子ども図書館所蔵の和図書 約2,400冊

・関西館所蔵の中国語・朝鮮語図書 約40冊

※ご利用いただけない資料は、国立国会図書館オンラインの書誌詳細画面の所蔵一覧上に、「作業中」の表示でお知らせしています。事前に検索してご確認ください。

## おもな人事

※詳細については、国立国会図書館ホームページの資料の保存・資料デジタル化について、デジタル化作業に伴う原資料の利用休止についてに掲載しています。

ご不便をおかけしますが、国民の文化的資産を後世に伝えるため、ご理解とご協力をお願いいたします。

### △辞職▽

令和2年6月30日付け

専門調査員 調査及び立法考査局長 山田 敏之

△異動▽ ※（ ）内は前職

令和2年7月1日付け

専門調査員 調査及び立法考査局長（専門調査員 調査及び立法考査局総合調査室主任） 山崎 治

専門調査員 調査及び立法考査局総合調査室主任

（専門調査員 調査及び立法考査局総合調査室付） 本吉 理彦

専門調査員 調査及び立法考査局総合調査室付

（主幹 調査及び立法考査局総合調査室付） 中渡 明弘

主幹 調査及び立法考査局総合調査室付（主幹 調査及び立法考査局文教科書技術調査室付） 相原 信也

主幹 調査及び立法考査局総合調査室付、調査企画課

長事務取扱（調査及び立法考査局調査企画課長） 松山 健一

## 図書館調査研究リポートNo.18 『地域の拠点形成を意図した図書館の施設と機能』を刊行しました

令和元年度に実施した図書館及び図書館情報学に関する調査研究の成果をまとめ、令和2年3月に、標記資料を刊行しました。ホームページで全文をご覧になれます。

この調査研究では、気仙沼図書館（宮城県）、大和市立図書館（神奈川県）、田原市中央図書館（愛知県）、瀬戸内市民図書館（岡山県）、伊万里市民図書館（佐賀県）を対象とした事例調査と、図書館施設についての文献調査を実施しました。

事例調査では、実地調査や関係者へのインタビュー等により、施設面の特徴や、その施設が地域の拠点形成の面でどのように機能しているかを分析しました。

文献調査では、建築分野における図書館研究の動向、図書館建築に関する先行研究、近年新築又は改築を行った国内公共図書館の情報等を整理しました。



<https://current.ndl.go.jp/report/no18>

問合せ先  
国立国会図書館 関西館 図書館協力課  
調査情報係  
電子メール chojo@ndl.go.jp

## 新刊案内

### 外国の立法 立法情報・翻訳・解説 第284号

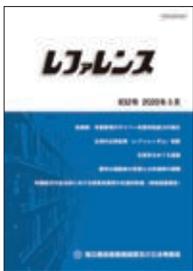
アメリカの2019年香港人権民主主義法  
アメリカの人身取引対策に関する法整備の現状―捜査及び訴追を中心に―  
フランスのデモにおける公の秩序保障法  
ドイツにおける非同居親の扶養義務と養育費立替法―ひとり親家庭への養育手当支給制度―  
ドイツの食料確保準備法―緊急事態における食料の安定供給に関する法律の刷新―



A4 124頁 季刊 1,800円(税別)  
発売 日本図書館協会  
ISBN 978-4-87582-861-7

### レファレンス 832号

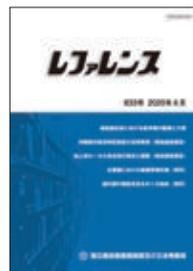
自衛隊、米国軍等のサイバー攻撃対処能力の強化  
台湾の公民投票（レファレンダム）制度  
生産性をめぐる議論  
都市公園制度の変遷と公民連携の課題  
中国地方の自治体における障害者雇用の先進的取組―岡山県総社市と鳥取県の事例―（現地調査報告）



A4 104頁 月刊 1,000円(税別)  
発売 日本図書館協会

### レファレンス 833号

超高齢社会における終末期の医療と介護―看取りの政策に向けて―  
沖縄県の経済特区制度の活用事例―国際物流拠点産業集積地域における近年の取組―（現地調査報告）  
地上波ローカル放送局の現状と課題（現地調査報告）  
主要国における被選挙権年齢（資料）  
諸外国の租税支出をめぐる動向（資料）



A4 102頁 月刊 1,000円(税別)  
発売 日本図書館協会

### カレントアウェアネス 344号

読書ハリアフリー法の制定背景と内容、そして課題  
オルタナティブな情報を保存する…統計不正問題からこれからの図書館を考える  
組織IDの動向―RORを中心に  
△動向レビュー▽  
学術雑誌の転換契約をめぐる動向  
米国の電子書籍貸出をめぐる議論  
欧州の図書館と電子書籍―従来の公共図書館よ、安らかに眠れ？



A4 28頁 季刊 400円(税別)  
発売 日本図書館協会

入手のお問合せ

日本図書館協会

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

電話 03(3523)0812

# 7/8

NATIONAL  
DIET  
LIBRARY  
MONTHLY  
BULLETIN  
2020.7/8

NO.711/712

JULY/AUGUST  
2020

## CONTENTS

- 01 <Book of the month - from NDL collections>  
*Azuma warawa*  
—Court ladies in men's attire illustrated in pictorial materials
- 07 Official version of Japan Search to finally be released!
- 10 Discussion: Future of Japan Search
- 20 The things you can find on Japan Search
- 22 Strolling in the forest of books (23)  
Forms of description
- 28 Working at the NDL, Episode 7
- 32 <Books not commercially available>  
*Shin edo tokyo tatemono en monogatari*
- 33 <NDL Topics>

国立国会図書館月報

令和2年7/8月号 (No.711/712)

令和2年8月1日発行

発行所 国立国会図書館  
編集責任者 三浦良文

印刷所 株式会社丸井工文社

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1  
電話 03 (3581) 2331 (代表)  
FAX 03 (3597) 5617  
E-mail geppo@ndl.go.jp  
<https://www.ndl.go.jp/>

本誌に掲載した論文等のうち意見にわたる部分は、それぞれ筆者の個人的見解であることをお断りいたします。  
本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜粋して転載される場合には、事前に当館総務部総務課にご連絡ください。  
本誌517号以降、PDF版を当館ホームページ (<https://www.ndl.go.jp/>) >刊行物>国立国会図書館月報でご覧いただけます。



NATIONAL  
D I E T  
LIBRARY  
MONTHLY  
BULLETIN  
2020.7/8

 国立国会図書館  
National Diet Library, Japan

図

国

国

冊

人

六